

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議の名称 | 平成30年度第4回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会 補助金審査部会 |
| 開催日時 | 平成30年8月24日(金) (午前・ 午後) 4時20分開会 (午前・ 午後) 5時00分閉会 |
| 開催場所 | 茨木市役所 本館3階 第2会議室 |
| 議長 | 野口 義文 氏 (立命館大学産学官連携戦略本部) |
| 出席者 | 野口義文氏 (立命館大学 産学官連携戦略本部)、伊津田崇氏 (中小企業診断士)、小牧義昭氏 (北おおさか信用金庫 総務部)、森本康嗣氏 (公募市民) 【4人】 |
| 欠席者 | 辻田素子氏 (龍谷大学 経済学部) |
| 事務局職員 | 武部商工労政課商工振興係長、入江商工労政課職員、上山商工労政課職員 【3人】 |
| 開催形態 | 一部非公開 |
| 議題(案件) | (1) 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金趣旨説明 (2) 会議の公開について (3) 応募団体プレゼンテーション及び審査 |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金募集要領 ・資料2 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金の選考について ・資料3 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金 審査基準及び配点表 |

議事の経過

1 開会

事務局：(開会のあいさつ)

2 趣旨説明

事務局：(資料1～3説明)

3 会議の公開について

事務局：初回の会議にて決定したとおり、下のとおりとする。なお、今回の傍聴希望者はなし。

①本部会について

原則公開とし、市民等の傍聴を認める。ただし、申請案件の審査に関する部分は、非公開とする。(※茨木市審議会等の会議の公開に関する指針第3より)

②議事録について

公開部分については、市のホームページ等で公開する。ただし、内容は要約したものとし、個々の名前は記載しない。委員名簿は公開する。

4 応募団体プレゼンテーション及び審査

(1) 地域魅力アップイベント創出育成事業申請案件：

IBARAKI JAZZ CLASSIC FESTIVAL 2018 実行委員会（以下申請者）から、事業概要及びアピールポイントについてプレゼンテーションがあった。

<質疑応答>

C委員：今後の継続性・発展性をどのように考えているか。

申請者：事業は拡大し継続していきたい。会場は、駅前周辺の空き店舗を利用して演奏以外に、楽器作りなど体験コーナーも考えている。また、普段関わりのなかった演奏者同士のつながりも作ることができる。

E委員：今後、来場者数を増やしていく予定か。

申請者：来場者は増やしていきたいが、質の高い演奏を提供していきたいため、小さな会場を増やしていこうと考えている。また、開催回数を増やし、年に数回実施することでジャズやクラシックを身近なものとしたい。

B委員：他市と異なる茨木らしさをどのように考えているか。

申請者：茨木は控え目で上品な人が多いイメージがある。声を上げなくても、ジャズやクラシックのイベントを希望している方は多いと考えている。他の音楽イベントとは異なり、文化及び音楽の質を重視したイベントにしていきたい。

A委員：次年度以降の協賛の見通しはどうか。

申請者：今後、協賛も継続して協賛いただけるように、単価を下げて数を増やすなどの手法を検討している。

A委員：どの程度開催を継続していきたいか。

申請者：5年、10年と、できる限り続けたいと考えている。

A委員：市外からの誘客にどのような手法を取っているか。

申請者：普段の音楽活動を通じたつながりやラジオでの周知、サンケイリビングの広告媒体にも掲載を予定している。また、読売テレビやJ:COMにも取り上げてもらうため情報提供している。

【 審 査 】

5 審査結果

- (1) IBARAKI JAZZ CLASSIC FESTIVAL 2018 実行委員会
400 点中 290 点 ⇒ 採択案件

<選考基準>

出席委員の評価点合計の 65%以上を取得した事業を、採択案件の候補とする。

ただし、上記基準を上回る事業であっても、個人の総得点の 1/2 (100 点÷2=50 点)

以下の点数を付けた委員がいる場合は、協議のうえ採択候補案件を決定する。

以上